

# 今、何の病気が流行しているか！



KAWASAKI CITY

## 【感染症発生動向調査事業から】

平成28年3月7日（月）～平成28年3月13日（日）〔第10週〕の感染症発生状況

第10週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は17.46人と前週（24.28人）から減少しましたが、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.94人と前週（7.06人）から横ばいですが、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.61人と前週（2.18人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



## 重症化にも注意が必要！～インフルエンザ～

今シーズンのインフルエンザは、第5週（平成28年2月1日～2月7日）にピークをむかえ、その後徐々に患者報告数は減少してきましたが、依然として注意報基準値（定点当たり10人）を超える報告が続いています。インフルエンザによる入院患者の定点当たり患者報告数も例年より多く、インフルエンザの重症合併症である脳症を含む急性脳炎の届出も、2月以降2件みられました。

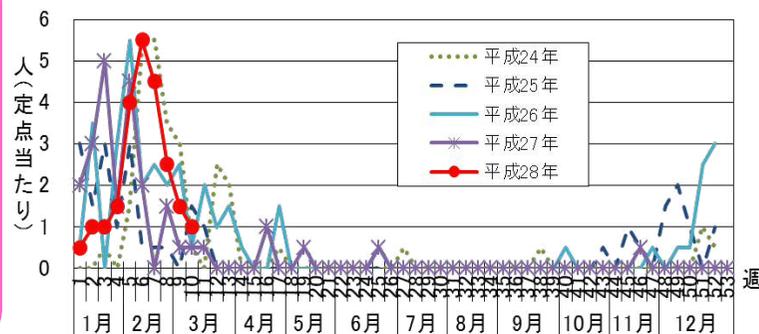
引き続き「マスク」や「手洗い」などの予防対策を心がけるとともに重症化への注意も必要です。

### 症状が重くなりやすい人はどんな人？

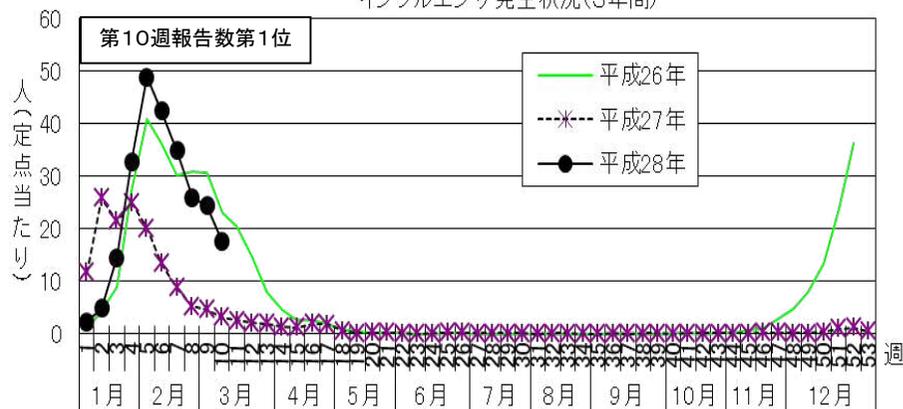
- お年寄り
- お子さん
- 妊婦さん
- 慢性閉塞性肺疾患(COPD)、喘息、慢性心疾患、糖尿病といった持病のある方



川崎市内基幹定点病院においてインフルエンザで入院した患者の定点当たり報告数



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

